

大田原市の夏の節電方針

「市の取組とみなさまへのお願い」

東日本大震災により、東京電力管内の電力供給力が低下しています。当分の間、電力の需要と供給のバランスが崩れた場合には、大規模停電など不測の事態が見込まれています。みなさんのご協力をいただくことで、非常に大きな効果が期待されます。ご協力をよろしくお願いいたします。

また、市では国の「夏期の電力供給対策」および栃木県の「オール栃木節電取組方針」に基づき、夏の節電方針を策定し、率先して節電に努めます。

給対策」および栃木県の「オール栃木節電取組方針」に基づき、夏の節電方針を策定し、率先して節電に努めます。

●節電対策の実施期間

平成23年7月から10月までの平日

●節電の目標

午前9時から午後8時までの使用電力を15%削減

●ご家庭のみなさんへ

電力削減の取組例を、政府と東京電力が作成しています(3ページ)。節電の参考としてぜひとも実行し

てくださいますようお願いいたします。ただし、生命や身体の安全が最優先です。熱中症・脱水症状などに十分注意しましょう。特に、お年寄りや子ども、身体の具合の悪い方などは、無理をしないようにしましょう。

●熱中症にご注意ください

熱中症にならないために
 ・体調を整え、具合の悪い場合には暑い日中の外出を控えましょう
 ・通気性の良い衣服を着て、外出時には帽子をかぶりましょう

・のどが渇いたと感じる前に、こまめに水分や塩分の補給を

▼熱中症かもしれないと感じたら

・涼しい日陰や室内に移動する
 ・衣服をゆるめて休む
 ・体を冷やし、水分や塩分を補給する
 ・意識がはっきりしないときなどは、救急車を呼ぶ

●市スポーツ施設・学校開放施設の夜間使用について

8、9月の夜間、施設ごとに原則週2回の休みを設けます(施設ごとに休む曜日が異なります)。ただし、温水プールは除きます。ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。お問い合わせは各施設まで。

●事業所のみなさんへ

事務所では昼間に高い電力消費が続く、その中でも特に、空調用電力が全体の約48%、照明やOA機器(パソコン、コピー機など)が約40%と大部分を占めます。こまめな電源オフや出力調整などにご協力ください。

事業所のみなさんへのお願い

- 1 冷房時の室内温度28度
- 2 照明の削減、使っていない部屋や廊下などの消灯、空調の停止
- 3 長時間席を離れるときの、OA機器の電源オフまたはスタンバイモードへの切り換え

おおたわら節電アイデアコンクール開催

市では、みなさんに節電の意識を持っていただき、アイデアを共有してより良い節電効果をあげていただくことを目的として、節電アイデアコンクールを開催します。

応募期間中(7月)にみなさんの個性的な節電方法を実践し、どのような効果があったかをお知らせください。

お年寄りがいる、ペットがいるなどのご家庭特有のアイデアや、家事での工夫、お手製の涼感グッズの提案なども大歓迎です。

○応募資格

市内在住または通勤・通学している方

○応募方法

応募用紙に節電アイデアの説明(必要ならばイラストも)とその効果を記入し、応募箱へ投函または政策推進課へ持参

※応募用紙と応募箱は、市内の協力店に設置してあります。
 ※応募用紙1枚につき応募1点。ただし、1人何点でも応募可。

○応募締切 7月31日(日)

○審査方法

8月上旬ごろ審査を行い、最優秀賞1点、優秀賞・奨励賞各数点を決定。

審査結果と入賞アイデアは市ホームページ、協力店掲示ポスターなどで発表します。

○注意事項

- ・未発表のものに限ります。
- ・「効果」は「電気代が減った」「冷房をつける日数が減った」「涼しく感じられ、快適に過ごせた」など、実践することで得た効果をご記入ください。

○応募先 政策推進課政策推進係(職業訓練センター内)

○コンクール協力店舗

市内大手の食料品スーパー
 ※詳しくは市のホームページをご覧ください。

■問い合わせ

政策推進課政策推進係 ☎(23)1951

●市役所の取り組み

職員一人ひとりが節電に対する意識を持ち、率先して取組を推進します。
(市役所の節電目標は、20%削減)

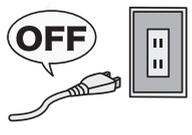
大田原市役所の節電方針

- 1 クールビズの推奨
従前の「6月から9月まで」を「5月から10月まで」に拡大
- 2 ノー残業デー(通年毎週金曜日)
- 3 冷房時の室内温度28度の徹底
- 4 事務所内照明の節減
- 5 使っていない部屋や廊下の消灯、空調停止
- 6 昼休み消灯
- 7 パソコンのスタンバイモードによる節電の徹底
- 8 コピー機、パソコン、プリンターなどの使用台数制限および退庁時プラグ抜き
- 9 使用頻度の低い機器(シユレツダ―など)は使用時のみプラグ挿入
- 10 電気湯沸かしポット、コーヒーマーカーなどの使用を減らす
- 11 マイボトル持参、涼感グッズ活用
- 12 暖房便座の温度調整
- 13 グリーンカーテン設置

■問い合わせ

政策推進課政策推進係

TEL (23) 1951



ご家庭での節電のお願い

■問い合わせ

東京電力(株)栃木北支社 TEL 0287(55)2026
 栃木県地球温暖化対策課 TEL 028(623)3187
 市生活環境課環境政策係 TEL (23)8706

節電チェックリスト

	お願いしたいこと	節電効果		チェック
		削減率	削減消費電力	
エアコン	①室温は28℃を目安にしてください。	10%	130W <small>設定温度を2℃上げた場合</small>	<input type="checkbox"/>
	②“すだれ”や“よしず”などで窓からの日差しを和らげ、エアコンの消費電力の抑制をお願いいたします。	10%	120w	<input type="checkbox"/>
	③無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機をご使用いただきますようお願いいたします。 ※除湿運転やエアコンの頻繁なオンオフは電力の増加になるのでご注意ください。	50%	600W	<input type="checkbox"/>
冷蔵庫	④設定温度が「強」の場合は「中」へ変更し、扉の開ける時間をできるだけ減らし、食品の詰め込みすぎに注意してください。	2%	25W	<input type="checkbox"/>
照明	⑤日中は照明を消して、夜間も点灯している照明をできるだけ減らしてください。	5%	60W	<input type="checkbox"/>
テレビ	⑥省エネモードに設定するとともに画面の輝度を下げ、必要な時以外は消してください。	2%	25W <small>標準→省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合</small>	<input type="checkbox"/>
温水洗浄便座 (暖房便座)	⑦便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能がある場合はこれらを活用してください。	1%未満	5W <small>左記いずれかの対策により</small>	<input type="checkbox"/>
	⑧夏はコンセントからプラグを抜いてください。			<input type="checkbox"/>
ジャー炊飯器	⑨早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊飯して、冷蔵庫に保存してください。	2%	25W	<input type="checkbox"/>
待機電力	⑩リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切り、長時間使用しない機器についてはコンセントからプラグを抜いてください。	2%	25W	<input type="checkbox"/>

※節電効果の記載値は資源エネルギー庁の推計です。
 (在宅世帯の日の平均的消費電力[14時:約1,200W]に対する削減率と削減消費電力の目安。小数点以下を切り捨て)

エアコンの控えすぎによる熱中症などにご注意いただき、無理のない範囲で節電へのご協力をお願いいたします。

削減率の合計が

15%を超えるよう

ご協力をお願いいたします。

外出されている時も、④、⑦、⑧、⑩の対策への取り組みをお願いいたします。



～家庭で使用する主な電気製品の定格消費電力～

夏(7月～9月)の平日9時～20時は、消費電力の大きい電気製品のご使用をできるだけ控えていただきますようお願いいたします。

電気製品	定格消費電力
エアコン	750～1,100W
扇風機	34W
冷蔵庫	200～300W
電球形蛍光灯	12W
白熱灯	60W

電気製品	定格消費電力
液晶テレビ	50～150W
DVDレコーダー	40W
パソコン	45W
ジャー炊飯器	1,300W
電子レンジ	1,400W

電気製品	定格消費電力
IHクッキングヒーター(3口)	5,800W
掃除機	1,000W
アイロン	1,400W
洗濯乾燥機(乾燥)	1,100W
温水洗浄便座(瞬間式)使用時	1,200W

出典:資源エネルギー庁調べ 上記は定格消費電力の一例であり、実際の消費電力は、製品の種類や使用方法等により異なります。

©東京電力(平成23年6月)